

## 第【 2 】学年 教科【 国語 】

### 1 学習目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

### 2 使用教科書・教材

教科書 『中学校 国語2』（光村図書）  
『中学書写 1・2・3年』（光村図書）

副教材 『よくわかる国語の学習2』（明治図書）  
『あかねこ中学漢字スキル』（光村教育図書）  
『新国語便覧』（秀学社）  
『つまずかない！ 文法の学習』（新学社）  
『読み方レスキュー グレードⅡ』（正進社）

### 3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
1学期（4～7月）	1 広がる学びへ 2 多様な視点から 3 言葉と向き合う 情報/SDGs いつも本はそばに  <b>【書写】</b> 1 読みやすく速く書くための行書 点画の省略「積雲」 筆順の変化「紅花」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見えないだけ</li> <li>・アイスプラネット</li> <li>・漢字に親しもう1</li> <li>・[聞く] 意見を聞き、整理して検討する1</li> <li>・文法への扉1 単語をどう分ける？</li> <li>・魅力的な提案をしよう</li> <li>・枕草子</li> <li>・季節のしおり 春</li> <li>・クマゼミ増加の原因を探る報告</li> <li>・情報整理のレッスン思考の視覚化1</li> <li>・情報を整理して伝えよう</li> <li>・漢字1 熟語の構成</li> <li>・漢字に親しもう2</li> <li>・短歌に親しむ</li> <li>・短歌の創作</li> <li>・短歌を味わう</li> <li>・言葉の力</li> <li>・言葉1 類義語・対義語・多義語</li> <li>・語彙を豊かに</li> <li>・メディアの特徴を生かして情報を集めよう</li> <li>・デジタル市民として生きる</li> <li>・読書を楽しむ</li> <li>・翻訳作品を読み比べよう</li> <li>・「わからない」は人生の宝物</li> <li>・読書案内 本の世界を広げよう</li> </ul>

<p>2学期（8～12月）</p> <p>4 人間のきずな 5 論理を捉えて 6 いにしへの心を訪ねる 7 価値を語る いつも本はそばに</p> <p><b>【書写】</b> 1 読みやすく速く書くための行書 行書と仮名の調和「豊かな森」</p> <p>書き初め</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節のしおり 夏</li> <li>・ヒューマノイド</li> <li>・字のない葉書</li> <li>・表現を工夫して書こう</li> <li>・[推敲] 表現の効果を考える 1</li> <li>・言葉 2 敬語</li> <li>・聞き上手になろう</li> <li>・漢字 2 同じ訓・同じ音をもつ漢字</li> <li>・漢字に親しもう 3</li> <li>・モアイは語る ー地球の未来論説</li> <li>・思考のレッスン 1 根拠の吟味 1</li> <li>・適切な根拠を選んで書こう</li> <li>・聴きひたる 月夜の浜辺</li> <li>・季節のしおり 秋</li> <li>・音読を楽しむ 平家物語古文・音読</li> <li>・「平家物語」の世界</li> <li>／「平家物語」の主な登場人物たち</li> <li>・扇の的 ー「平家物語」から</li> <li>・仁和寺にある法師ー「徒然草」から</li> <li>・漢詩の風景</li> <li>・君は「最後の晚餐」を知っているか</li> <li>・「最後の晚餐」の新しさ</li> <li>・思考のレッスン 2 具体と抽象 1</li> <li>・季節のしおり 冬</li> <li>・[話し合い（進行）] 話し合いの流れを整理しよう 1</li> <li>・文法への扉 2 走る。走らない。走ろうよ。</li> <li>・立場を尊重して話し合おう</li> <li>・漢字に親しもう 4</li> <li>・「自分らしさ」を認め合う社会へ</li> </ul>
<p>3学期（1～3月）</p> <p>8 表現を見つめる</p> <p><b>【書写】</b> 2 文字を使い分ける 楷書と行書の使い分け</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・走れメロス</li> <li>・漢字に親しもう 5</li> <li>・文法への扉 3 一字違いで大違い</li> <li>・描写を工夫して書こう</li> <li>・言葉 3 話し言葉と書き言葉</li> <li>・漢字 3 送り仮名</li> <li>・国語の学びを振り返ろう</li> <li>・鍵</li> </ul>

#### 4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付いている。</li> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。</li> <li>・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。</li> <li>・小学校学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。</li> <li>・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。</li> <li>・意見と根拠意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報の関係情報と情報の関係について理解している。</li> <li>・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使用している。</li> <li>・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。</li> <li>・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</li> <li>・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。</li> <li>・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。</li> <li>・目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書いている。</li> <li>・本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</li> </ul>	定期考査 小テスト ワークシート 書写の成果物
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・自分の考えや根拠が明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。</li> <li>・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</li> <li>・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</li> <li>・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。</li> <li>・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方</li> </ul>	定期考査 小テスト ワークシート レポート 作文 発表（スピーチ、プレゼンテーション等）

	<p>法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係をなどを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</li> <li>・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> <li>・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。</li> <li>・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。</li> <li>・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。</li> <li>・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。</li> <li>・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</li> <li>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。</li> <li>・積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。</li> <li>・すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。</li> <li>・積極的に活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</li> <li>・積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</li> <li>・繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</li> <li>・粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</li> <li>・積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって考えを述べようとしている。</li> <li>・粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。</li> <li>・積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書こうとしている。</li> <li>・すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたこ</li> </ul>	<p>定期テスト 小テスト ワークシート 授業ノート 暗唱テスト 課題の提出</p>

とをレポートにまとめようとしている。

・粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

・積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。

・すすんで文章を比較するなどし、学習の見通しをもって脚本を創作しようとしている。

・繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

・すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって議論しようとしている。

・すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。

・積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。

・粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようと題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

・すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。

・粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。

・すすんで内容を解釈し、複数の情報を整理しながら考えたことを提案しようとしている。

・すすんで主張と例示の関係について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。

・積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。

・積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって対話しようとしている。

・今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。

・積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。

・助詞・助動詞に興味・関心を抱き、助詞・助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。

・すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。

・すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課の仕方を考え、

	<p>学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</li><li>・積極的に表現の効果を考えて、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。</li></ul>	
--	--	--